

## 表 これからのまちづくり

みどり21 質問者・内田 隆



◎ 東京を中心とした人口の一種集中が続き地方は大変厳しい状況にある中で、菊川市は小学校区を大切にした均衡ある発展を目指し、地域ごと独自の活動により地域づくりを行なっている。各地域に住み良い地域ができることにより市全体の住み良さに繋がっていると考えるが、今後における市長の考え方はどうか。

▲ 将来を見据えた効率的かつ計画的な土地利用や都市機能の確保を的確に進めつつ、3つの都市拠点と地区センターを中心とした11の生活活動拠点の充実、拠点間を結ぶネットワーク形成による快適で利便性の高い環境づくりに沿ったまちづくりを進めて行く。

◎ 地域づくりを進める際に各自治会から出された要望書等について、実施できない場合にはその理由を明確に告げ、行政との信頼関係を持つことが大切であると思うがどのように処理しているのか。

▲ 担当課で受付後、部長・副市長・市長へ周知する流れとなっている。要望内容を確認し鋭意努力し対応している。今後も信頼関係を大切にし、適切に処理をしていく。また、都市計画マスタープランの作成時に出された地域別構想についても市として検討していく。

◎ お茶は直接的・間接的に現在の菊川市を発展させてきた基幹産業であるが、茶価の低迷により産業としての魅力を失ない後継者不足となり、大変厳しい状況に陥っている。菊川市の今後のお茶について、どのような対応を考えているか。

▲ 先人達の努力により牧之原台地の開拓や深蒸し茶の製法開発、茶農協設立の推進、基盤整備の実施などにより全国有数の茶産地となり重要な産業となっている。しかし、茶価の低迷や高齢化による後継者不足などにより大変厳しい状況であり複合経営の推進や営農

組合の再編、茶園集積等を実施している。今後も高い意識を持ち意欲的に取り組んでいる農業者の支援を一層強化していく。また、茶業関係者と行政が一体になって課題の洗い出しを行ないそれぞれの役割りを明確にしていく。

◎ 価格の低迷は、需用と供給のバランスが崩れているという説もあり、もう少し原点を洗い直す必要があるのではないか。

▲ 問題点をしっかり洗い出すことが大切で、茶業の低迷する原因を探りながらハード・ソフト両面からの対策が必要と考えている。

◎ 合併時の目標は「みどり次世代」であり、住み良さの市民アンケートでも緑の豊かさは高い評価を受けている。緑の豊かさを武器とし、緑化を中心としたまちづくりの考えはないか。

▲ 緑化推進は、人々に潤いや安らぎを与え観光資源となる他、地球温暖化対策や雨水流抑制等の役割りもある。各種計画においても緑化の位置付けがされており、緑に触れ合う機会を通じ、市民と

行政が一体となった共に汗をかく協働のまちづくりにつなげて行きたい。

◎ 税収が減り、厳しい予算への対応と財源確保のための企業誘致についてどのように考えているか。

▲ 事業全般について、必要性和効果を再確認し財源配分の重点化を進める。企業誘致については、税収入や雇用等菊川市を将来持続可能とするためには大変重要であると捉えており全庁で対応していく。

他に「新型コロナウイルスへの対応」について質問しました。



六郷地区センター